

科目区分	専門科目・基礎医学系			
授業科目名	分子生物学特論			
担当者名	責任者	海老原 敬	分担者	田中 正光, 高須賀 俊輔, 立松 恵
単位数	2単位(選択)		配当年次	1、2年次
授業形態	講義		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
授業の概要・到達目標				
授業の目的: 遺伝子発現調節機構, 受容体シグナル伝達機構に関する最新の知見を学ぶことを目的とする。 授業の到達目標: 多細胞生物の恒常性維持機構の破綻に起因する病態を, 細胞, 分子のレベルから理解し, 説明することを目標とする。				
授業計画				
	授業の概要及び到達目標 (授 業 内 容)		担当教員名	講座名 〔実施場所〕
1	細胞内シグナル(G蛋白質共役受容体)		高須賀 俊輔	微生物学 〔Webclass〕
2	細胞内シグナル(酵素連結型受容体)		高須賀 俊輔	
3	リン脂質代謝酵素と疾患		高須賀 俊輔	
4	サイトカインと受容体		海老原 敬	
5	サイトカインシグナリング		海老原 敬	
6	生物学的製剤と疾患		海老原 敬	
7	炎症性サイトカインと疾患		海老原 敬	
8	免疫細胞の転写因子		海老原 敬	
9	がん遺伝子の発現調節機構		田中 正光	分子生化学 〔講座研究室〕
10	腫瘍のチロシンリン酸化シグナル		田中 正光	
11	細胞分裂、増殖に関わる転写因子		田中 正光	
12	腫瘍微小環境におけるサイトカイン産生調節		田中 正光	
13	腫瘍の転移に関わるシグナル伝達		田中 正光	
14	がんの浸潤促進因子		田中 正光	
15	ホルモン産生腫瘍のシグナル		田中 正光	
成績評価の基準と方法				
研究室での講義30時間＋自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果, 提出したレポートの内容を考慮して行う。				
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)				
海老原 敬, tebihara@med.akita-u.ac.jp				
その他特記事項				
履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				